

スーパーバイザー 高橋昌里（日本大学医学部 小児科）

長田道夫（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

教育講演

国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科 亀井宏一

東京女子医科大学病院 臨床工学部 相馬泉

福島県立医科大学医学部 小児科 川崎幸彦

チューター

清水正樹（金沢大学）

山川聡（あいち小児保健医療総合センター）

永井琢人（愛知医科大学）

日高義彦（信州大学）

元吉八重子（東京医科歯科大学） 藤丸季可（大阪市立総合医療センター）

斎藤宏（日本大学）

山田昌由（静岡県立こども病院）

応募の要領

まず、別紙および小児腎臓病学会HPに掲載されている参加者への心得を読み、チュートリアルを進め方、とくに事前学習の意味を理解してください。

次に、開講分野である

- 1) ネフローゼ
- 2) 腎炎
- 3) 慢性腎不全
- 4) 水電解質・尿細管疾患

の4つから今回受講を希望するものを2つ決めてください。

本セミナーは原則先着順ですが、これまでの参加歴も参考にします。

同じ専門分野を目指す同年代の医師や先輩医師と知り合う良い機会です。

小児腎臓医としての経験年数は不問です。情熱と向上心のある若手大歓迎です。

参加希望の方は希望分野を第2希望まで添えて、下記メールアドレスへご連絡下さい。

企画 日本小児腎臓病学会教育委員会

第8回実行委員長 和田尚弘（静岡県立こども病院）

事務局 北山浩嗣

秘書 嶋野（ch-kidney@i.shizuoka-pho.jp）

締め切り 7月10日（金） *ただし、定員になり次第募集は終了します。

平成27年度 小児腎臓病学会パワーアップセミナー参加希望者へ

パワーアップセミナーは、小児腎臓病学会教育委員会が、若手小児腎臓医の育成プログラムの一環として年に一度、1泊2日の予定で全国各地にて開催しています。今回の静岡で8回目です。講義形式のセミナー1泊2日で“小児腎が分かる”、ということはありません。そこで、実践的な症例から多くの問題を抽出しながら自主的に学んでいくというチュートリアル形式で行います。これをより効果的にするためには、メールで事前学習を十分に行うことが必要です。この事前学習により、自分のレベルに合わせた勉強の進め方ができますので、小児腎臓医としての経験年数は参加条件にはしていません。学習意欲さえあれば経験値が低くても、セミナーには十分にキャッチアップできると思います。

このセミナーには、以下のようなメリットがあります。

- 1.ネフローゼ症候群、腎炎、慢性腎不全、水電解質・尿細管疾患の4つのうちから自分の希望で受講科目を選択できる(場合によっては第二希望になることもあります)。
- 2.教育委員会で作成した良質の症例のシナリオに沿って、チューターと相談しながら、自分のペースで学習を進めることができる。
- 3.少数で構成されるグループ学習を通して、いろいろな経験やレベルの小児腎臓医と交流し、相互に学ぶことができる。
- 4.小児腎臓医として必要なスキルに密接に関連する教育講演を受けることができる。
- 5.懇親会などを通して、学会のメンバーと縦横の繋がりを持つことができる。

このセミナー受講を希望する方に認識していただきたい点

本セミナーの基本は自主学習であるため、事前学習に意欲的であることが必須です。チューターによる効果的な学習サポートは、シナリオに沿って計画的に行いますので、受講者はメールへのレスポンス、レポート提出期限の厳守をお願いいたします。セミナー受講に関しては、チューターや講師は基本的にはボランティアで参加します。また、会場や宿泊などの手配は担当施設の学会員があたってくれます。運営資金は小児腎臓病学会から支援されていますが十分ではなく、また参加費は抑えたいと考えておりますので、多少の不便などあるかもしれません。この点もご理解いただきたいと思います。

若手の意欲のある先生方と、小児腎臓学の大切さ、面白さを分かち合い、実りあるセミナーにしていきたいと思っております。奮ってご応募ください。

小児腎臓病学会教育委員会委員長
長田道夫